

# 「ブリヤート共和国投資プレゼンテーション」のご案内

平成30年5月22日

日露貿易投資促進機構事務局(ロシアNIS貿易会)

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、ロシアNIS貿易会では、6月15日(金)、A.S.ツイデノフ・ブリヤート共和国首長を団長とする総勢約50名からなるブリヤート共和国代表団の来日を機に、下記の要領で「ブリヤート共和国投資プレゼンテーション」を開催致します。

ブリヤート共和国は、ロシア・バイカル湖の南東部に位置するモンゴル系ブリヤート人の民族共和国です。同共和国では、鉱業(非鉄金属・貴金属)、機械製造(航空機産業等)、林業・木材加工業、軽工業が伝統的に盛んで、また最近では、バイカル湖を中心とする観光振興に力を入れています。

本プレゼンテーションでは、同共和国の投資ポテンシャルや日本企業との協力を求めている先方企業のプレゼンテーションを実施するほか、プレゼンテーション後に約20のブリヤート共和国企業/団体とのビジネスマッチングを行います。

本行事へ参加ご希望の方は、別紙1「プログラム」をご参照のうえ、別紙3「参加申込書」にて、**6月13日(水)**までに一般社団法人ロシアNIS貿易会宛にFAX(03-3555-1052)もしくはEメール([webmaster@rotobo.or.jp](mailto:webmaster@rotobo.or.jp))にてお申込みください。

同共和国企業との商談をご希望の場合は、6月11日(月)までに別添に記載の企業リスト及び企業概要をご確認いただき、希望する企業名も併せてご教示願います。面談希望者が多い場合はブリヤート側と相談し面談相手を決めますので、ご希望に添えない場合があることを予めご了解ください。

定員になり次第、締切日前にお申込みの受付を終了させて頂く場合がありますので、ご関心の向きはお早目にお申込みいただけますようお願い申し上げます。皆様のご参加をお待ちしております。

敬具

## 記

- ◆日 時: 2018年6月15日(金) 10:00~12:00 ブリヤート共和国投資プレゼンテーション  
12:00~13:30 ブリヤート共和国企業との商談会
- ◆会 場: ホテルニューオータニ ザ・メイン アーケード階「おり鶴 麗の間」  
〒102-8578 東京都千代田区紀尾井町4-1 TEL:03-3265-1111(代)  
<http://www.newotani.co.jp/tokyo/info/access/index.html>
- ◆主 催: 一般社団法人ロシアNIS貿易会、ブリヤート共和国政府
- ◆後 援: 在日ロシア連邦大使館、ロシア連邦通商代表部
- ◆参加費: 無料 / ◆定員: 120名
- ◆プログラム: 別紙1参照 / ◆言語: 日口同時通訳
- ◆連絡先: (一社)ロシアNIS貿易会ロシアNIS経済研究所 担当: 中居、斉藤、橋之爪、市野  
TEL:03-3551-6218 FAX:03-3555-1052 Email:[webmaster@rotobo.or.jp](mailto:webmaster@rotobo.or.jp)

## ブリヤート共和国投資プレゼンテーション プログラム

- ◆ 日 時: 2018年6月15日(金) 10:00~12:00 (ビジネスマッチング 12:00~13:30)
- ◆ 会 場: ホテルニューオータニ ザ・メイン アーケード階「おり鶴 麗の間」
- ◆ モデレーター: 高木 繁 (一社)ロシアNIS貿易会 専務理事

時 間	プログラム
09:30~10:00	レジストレーション
10:00~12:00	<b>【ブリヤート共和国投資プレゼンテーション】</b>
10:00-10:15	<b>◆開会挨拶</b> 目黒祐志(一社)ロシア NIS 貿易会副会長/三井物産執行役員 A.S.ツィデノフ・ブリヤート共和国首長 M.ガルジン 駐日ロシア連邦特命全権大使(予定)
10:15-10:25	<b>◆ブリヤート共和国の投資ポテンシャル</b> A.V.バルダレエフ・ブリヤート共和国経済大臣
10:25-10:35	<b>◆ブリヤート共和国地域発展基金による投資プロジェクトへのサポート</b> B.D.ドィムブリョフ・ブリヤート共和国地域発展基金総裁
10:35-10:45	<b>◆ブリヤート共和国における日本企業の活動事例</b> 和野内 聡 三井物産(株) 生活事業開発部 建材・木材事業室 マネージャー
10:45-11:45	<b>◆ブリヤート共和国の投資プロジェクト</b> 1)ブリヤートの観光ポテンシャル E.I.マルイギン・ブリヤート共和国観光省次官 2)林業・木材加工インフラ構築企業 D.V.ノヴィコフ IT Almak-Baykal 社長 3)ブリヤートへようこそ G.S.ドルジエフ 旅行オペレーター協会バイカル・パートナーCEO 4)調整中 5)ウラン・ウデ航空機工場とその製品 L.Ya.ベルイフ・ウランウデ航空機工場専務執行役員 6)ホテル Baikal Residenc の観光・スパプログラム O.S.ヴォルフオロメエワ「LUXE-TUR」社長
11:45-12:00	<b>◆質疑応答</b>
12:00-13:30	<b>◆ブリヤート共和国企業と日本企業とのビジネスマッチング(B2B)</b>

## ブリヤート共和国に関する参考資料

### ブリヤート共和国の概要

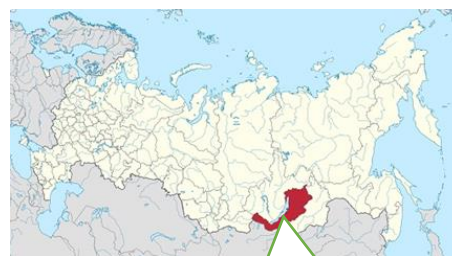
ロシア・バイカル湖の南東部に位置するモンゴル系ブリヤート人の民族共和国で公用語はロシア語およびブリヤート語です。共和国南部はモンゴルと国境を接しており、人口の約3割を占めるブリヤート人の多くはチベット仏教(ラマ教)を信仰しています。

共和国の人口は98万6,451人(2018年初)。共和国都はウラン・ウデ市(人口43万4,869人)。主要産業は、鉱業、機械製造、林業・木材加工業、軽工業などです。鉱物や森林資源が豊富なほか、世界遺産のバイカル湖やチベット仏教寺院など観光資源も豊かです。

ウラン・ウデはシベリア鉄道と中国まで伸びるモンゴル縦貫鉄道の分岐地としても重要な場所です。



ブリヤートのラマ教寺院



### ツィデノフ・ブリヤート共和国首長

アレクセイ・サムブエヴィチ・ツィデノフ (Alexey Sambuevich TSYDENOV)

1976年3月16日生(42歳)

1998年 極東国立鉄道大学卒業

1998～2002年 鉄道会社勤務

2002～2004年 OOO「ダリネフチェトランス」社長

2004～2006年 OAO「極東運輸グループ」社長

2006～2009年 ロシア連邦運輸省鉄道輸送国家政策局副局長

2009年 ロシア連邦政府産業・インフラ局副局長

2011年 12月～2012年6月 連邦鉄道輸送庁長官

2012年6月～2017年2月 ロシア連邦運輸省次官

2017年2月～2017年9月 ブリヤート共和国首長代行

2017年9月～現在 ブリヤート共和国首長



(別紙3)

(一社)ロシア NIS 貿易会 ロシア NIS 経済研究所 宛て (担当:中居、斉藤、橋之爪、市野)

FAX: 03-3555-1052 / E-mail: webmaster@rotobo.or.jp

## ブリヤート共和国投資プレゼンテーション

6月15日(金) 10:00~12:00

ホテルニューオータニ ザ・メイン・アーケード階 おり鶴「麗の間」

### 参加申込書

締切日:6月13日(水)

(1) 申込者氏名		英文表記	
(2) 勤務先名称			
英文表記			
(3) 所属部署			
英文表記			
(4) 役職		英文表記	
(5) 勤務先TEL			
(6) E-mail			
(7) ビジネスマッチング (12時~13時30分)	◇ブリヤート企業とのビジネスマッチングを希望されますか?  はい <span style="float:right">いいえ</span>  注: 「はい」の場合は (8) 面談希望企業もご記入ください。 ビジネスマッチングの締切日は <u>6月11日(月)</u> です。		
(8) 面談希望企業	B2Bブリヤート共和国 企業・団体情報の番号と企業・団体名をご記入ください。  ① 第一希望: No. _____ 社 ② 第二希望: No. _____ 社 ③ 第三希望: No. _____ 社  ※当会では通訳は用意しません。 <u>通訳が必要な場合には、各自でご用意いただくようお願いいたします。</u>  ※※面談希望者が多い場合はブリヤート側と相談し面談相手を決めますので、ご希望に添えない場合もあることを予めご了承ください。		

※個人情報の取扱には十分注意し、当案件以外の目的では使用いたしません。

## 【B2B】ブリヤート共和国 企業・団体情報

No.	企業・団体名	業種	関心事項	言語
1	BAS	木材・製材	販売市場拡大	日本語可
2	IT・アルマク・バイカル	木材・製材	販売市場拡大	日本語可
3	税関・物流ターミナル ジュルトウラ	石炭、木材・製材	販売市場拡大	
4	セヴェルナヤ・レスナヤ・カンパニヤ	木材・製材	木材加工システム購入、通関手続きパートナー等	日本語可
5	ブリヤート合板工場 オリホン	木材・製材	販売市場拡大	英語可
6	ウランウデ航空工場	機械製造	販売市場拡大	英語可
7	バイカルエコセルヴス	廃棄物処理	廃棄物処理方法、設備購入等	
8	デュポン・インヴェスト	建設	建材、技術	
9	レムストロイ	建設	建材製造・技術パートナー	
10	ブルグラダジンストロイ	建設	パートナー開拓	
11	バイカル建設会社 コントウル	建設、家具	箸製造計画、パートナーや投資家開拓等	
12	ロトス	鋳造	販売市場拡大、技術習得	
13	シブディコロス	薬草の採取と栽培	共同加工、水の販売、ヤマワサビ栽培および販売	
14	ブリヤート農業研究所	学術研究、農業	共同開発	
15	オブエジニョンンウィエ・フェルメルイ	農業	パートナー開拓	
16	バイカル・バイオテクノロジーセンター	学術、保健	共同開発、皮膚被覆材の販売	
17	医療センター ディアメド	医療	医療ツーリズム	
18	バイカルスキー・パルトニョール	観光	パートナー開拓	日本語可
19	リュクス・トウル	観光	パートナー開拓	英語可
20	テツラ・イグノタ	観光	パートナー開拓	

※言語の記載がない企業はロシア語のみ面談可能です。

当会では通訳の手配はしません。通訳が必要な場合は各自ご用意ください。

## 1. 有限責任会社「BAS」

### 1. 企業名

有限責任会社「BAS」

### 2. 企業所在地

本社: ウランウデ市 1905 年革命通り 31、

工場: マトロソフ町リュボフィ・シェフツォワ通り 2「B」

### 3. 事業内容

・当社の主な事業は中国への製材輸出

・毎月の平均的な製材輸出量は約1万 m<sup>3</sup>。

・当社の所有下にある施設は下記の通り。

- 面積 3.2ha の工場
- 貨車最大 30 台を対象とする積載ヤードを備えた鉄道引込線2本
- ガントリークレーン3台
- 事務所スペース 420m<sup>2</sup>
- 面積 1,300m<sup>2</sup> の鉄筋建造物-用途: モールディングおよび積層材製品工場

・当社は 2016 年に木材の自社調達・加工を開始した。これを目的として取得した設備は下記の通り。

- グラップル「IWAFUJI T-40」(日本)
- 完全機械化幅広ベルトタイプ加工ライン「BONJUANI」(イタリア)
- 米国製帯のこ盤「WOOD MAIZER」2機
- 多刃型エッジトリマー「MTs-1000」
- 丸棒削り盤「RUS'-320」
- 真空乾燥室「NAUTILUS-18」-容量 18m<sup>3</sup>(厚さ 50mm)(プリアート共和国国内唯一の設備)
- 2018 年5月/6月には、モルダ(ドイツ「Weinig 23EL」または日本・飯田工業「Woodsman M-224」)を基盤としたかな加工済モールディング材製造を目的とした仕上工場の操業を開始する予定である。

・当社の今後の計画:

- 森林区画の長期賃借の実現-丸太の年間調達量を毎年 15 万 m<sup>3</sup>以上とする
- 森林伐採システム(ハーベスタ+フォワーダ)「PONSSE」の取得
- 年間処理能力 20 万 m<sup>3</sup> 以上の木材高度加工工場の設計と建設
- 1度に 2,000m<sup>3</sup> を収容できる乾燥システムの建設
- 年間生産能力2万 5,000t以上の燃料ペレット製造工場の建設
- 樹皮を燃料とする発電ユニットの建設
- 木材加工スペシャリストの職能・技術面での教育と養成

### 3. 訪日の目的:

(1) 台形カット集成材製造用設備の模索と買付。下記ビデオに登場するすべての機械アイテムが必要である。

[https://my.mail.ru/mail/sib\\_us\\_uu/video/myvideo/4.html](https://my.mail.ru/mail/sib_us_uu/video/myvideo/4.html)

(2) 当社では、かな加工済製材・モールディング材(板材、ライニングパネル等)のコンテナでの日本向け供給をオファーする用意がある。これらの材料は含水率5%未満、樹種はマツおよびカラマツである。

買手からの品質要件が得られていないため、輸出製品の正確な量に言及することは時期尚早であるが、1回当たりの最低供給量は 40 フィートコンテナ1台、およそ 48~50m<sup>3</sup> である。

## 2. 有限責任会社「IT・アルマク・バイカル」

1. 企業名：  
有限責任会社「IT・アルマク・バイカル」
2. 企業所在地：  
法的所在地：111141、モスクワ市クスコフ通り 20A、事務所 No.606  
現住所：671950、ブリヤート共和国セドレツキー通り 15A
3. 企業責任者：  
代表取締役-ノヴィコフ, ドミトリー・ヴァチェスラヴォヴィチ  
当社は、2016年3月25日、最新鋭の自然保護システムを用いた木材の高度加工に関する投資プロジェクトを実現する目的で設立された林業・木材加工インフラ（伐倒木材加工施設、バイオエネルギー目的のものを含む林業廃棄物処理施設）構築企業である。上記プロジェクトはブリヤート共和国内各地で展開されている。  
当社の生産施設は単一産業都市ザカメンスクのザカメンスク木材加工コンプレックスにある。第2期分の生産施設は単一産業都市グシノオゼルスクでの操業開始が予定されている。
4. 企業の事業領域：  
当社は自社所有の伐採・木材加工設備、およびブリヤート共和国南部に位置する年間 38 万 m<sup>3</sup> 規模の資源基盤を有する総合プラント企業である。  
当社の生産能力は、2022 年までにダフリアカラマツ製の壁用パネル・床仕上げ材 120 万 m<sup>2</sup> に到達する見込みである。  
当社の開発プログラムには、毎年、家屋 60 件分の製品生産が盛り込まれている。製品の 50%超が英国および EU に輸出される予定である。
5. 経済部門：  
木材高度加工、木材製品輸出。
6. 当社はこの種のプロジェクトの実現実績と、安定した海外パートナーを有している。  
カラマツ製品およそ 80 万 m<sup>2</sup> の輸出が計画されている。  
また、ドイツおよびイタリアへの輸出に関する事前契約が締結されている。  
チェコへの第 1 回デリバリーも現在準備中である。

当社は、生産能力の拡大と自社製品の日本市場への販売を目的として、日本でのパートナーを模索中である。

### 3. 有限責任会社 税関・物流ターミナル「ジェルトゥラ」

1. 企業名：  
有限責任会社 税関・物流ターミナル「ジェルトゥラ」
2. 企業の所在地：  
ブリヤート共和国ウランウデ市ポリゴン広場 33、2号棟
3. 企業責任者：  
代表取締役-ゴルブノフ, エヴゲニー・ウラジミロヴィチ
4. 企業の創立年月日および略歴：  
当社の創立年月日は 2015 年 11 月 17 日である。  
有限責任会社 税関・物流ターミナル「ジェルトゥラ」は、モンゴルとロシアとの間における双方向自動車越境通行(双方向自動車越境地点「ジェルトゥラ」)開通投資プロジェクトへの参加を目的として設立された。  
現在、当社は自社所有資産をもって、モンゴル領内からの石炭の搬入、その加工、鉄道貨車への積み込み、および発送を行うことを目的として、双方向自動車越境地点「ジェルトゥラ」の建設と改築を進めている。  
建設作業は当社所有の土地区画において進められている。ブリヤート共和国ジダ地区に位置する土地区画の総面積は 6.0942ha である。建設中の施設には立入禁止区域、一時保管倉庫、連邦機関のための宿泊地点が設置される予定である。  
ブリヤート共和国ジダ地区に位置する総面積 40.95ha の土地区画には、鉄道輸送による石炭発送路線を備えた鉄道ターミナルが配置される予定である。  
建設完了は 2019 年の予定である。  
双方向自動車越境地点「ジェルトゥラ」から 18km の地点に位置する石炭資源は4億tにのぼる。
5. 企業の事業領域(生産する製品／提供するサービスの概要)：  
当社は石炭および木材の輸入／輸入に携わっている。
6. 企業が事業を展開している経済部門：  
石炭産業、木材調達産業、木材高度加工、丸太輸出、木材高度加工製品輸出。
7. 輸出取引、投資プロジェクト実現の実績：  
今日、当社はヴォストチヌイ港へ毎月およそ8万tの石炭を発送している。この石炭の買手は外国企業である。  
また、当社は有限責任会社「KAIR」とともに木材輸出に取り組んでいる。当社のパートナーである有限責任会社「KAIR」はカザチンスコエ・レンスキー地区で 2000 年に設立された企業で、マギストラリヌイ町に土地区画 13ha の生産基盤、車両 45 台分の積載場を備えた引き込み線2本、ならびに駐車場を備えた、一貫加工生産を行う木材加工コンプレックス2カ所を有している。
8. 輸出先の地理配置(恒常的に輸出を行っている相手国を列挙)：  
中国
9. 日本のパートナーとの共同実現に向けて提案するプロジェクト：  
当社は石炭および木材の新たな販売市場に関心がある。また、練炭および木質ペレット生産に関する日本のパートナーの実績に関心がある。



#### 4. 有限責任会社「セヴェルナヤ・レスナヤ・カンパニヤ」

セヴェルナヤ・レスナヤ・カンパニヤは急速な発展を遂げつつある企業であり、林業部門において 2013 年から事業を展開している。当社はあらゆる事業の方向性において、責任ある、安定したパートナーとしての評価を得ている。

##### 1. 事業内容

###### (1) 輸送

当社は貨車およびコンテナによる木材貨物輸送に特化している。当社は、次の通り、木材貨物の輸送に関連するあらゆる方向性のサービスを提供している—鉄道輸送、すなわち無蓋車、長物車、有蓋車によるロシアから中国への貨物の配送(ザバイカリスク駅、ナウシキ駅、綏芬河駅、琿春駅経由)、ロシア領内における自動車輸送および国際輸送、荷積みスキームの立案と調整、貨物の通関手続き、コンテナ貨物輸送、モンゴル領内におけるトランジット輸送。当社はロシアの貨物車両所有大手企業との間で安定した関係を築いており、こうしたパートナー企業には、有限責任会社「トランスレス」、「エヴロシブ」グループ、株式会社「第一貨物会社(PGK)」、株式会社「連邦貨物会社(FGK)」、有限責任会社「エコライン」、公開株式会社「トランスコンテナ」等がある。

###### (2) 下記の中国製の木工機械および木材調達機械の林業部門企業への供給:

- 丸太材および半丸太材用の多刃型木工機械、エッジトリマー、帯のこ盤。Fujian Deli、Shenggong、Qingcheng といったブランドの旋盤の需要が高い。
- クランプ付き貨物ローダー、フォークリフト(Changlin 製)
- 丸のこ

###### (3) 製材の製造

毎月およそ 6,000m<sup>3</sup> のカラマツおよびマツを、当社敷地内で乾燥、加工している。加工には乾燥室、木工機械、帯のこ盤等、いずれも高品質の輸入機械を使用している。

##### 2. 訪日の主な目的

- (1) 木材加工システム(選別ライン、剥皮機械、木材用スキャナから、帯のこライン、丸のこ盤ライン等の木エラインまで)の購入。中古および新品の両方に関心がある。
- (2) 通関手続きパートナーの探求。日本における貨物通関申告企業との協力を模索している。
- (3) 製材販売に関する電子入札システムに参加できる企業と協力したい。

## 5. 有限責任会社 ブリヤート合板工場「オリホン」

1. 企業名:  
有限責任会社 ブリヤート合板工場「オリホン」
2. 企業の所在地:  
ブリヤート共和国ウランウデ市リュボフィ・シェフツォワ通り3B
3. 企業責任者:  
代表取締役-ジュ, セセグ・アレクサンドロヴナ
4. 企業のインターネットサイトアドレス  
www.burfanera.ru
5. 企業の創立年月日および略歴:  
有限責任会社 ブリヤート合板工場「オリホン」は 2014 年1月に設立され、カラマツ(ヨーロッパヤマナラシ)合板の製造を開始、2015 年には積層合板の最初のロットを製造した。同年、当工場はモンゴルのウランバートル市で開催された国際見本市「BARILGA EXPO 2015」に参加し、初の合板輸出契約を締結、モンゴルへの合板輸出を開始し、生産能力の増強も決定された。2015～2018年にかけて、「生産能力増強および製品輸出規模の拡大を目的とした、大型合板(商標 FK、FSF)生産の拡大と近代化」プロジェクトの一環として、追加生産設備の買付が進められている。2016 年には極東市場への合板供給と、ヨーロッパ、トルコ、エジプトへの製品供給に関する交渉が開始された。2018 年にはエジプトへの合板輸出契約が締結されたほか、トルコ、ドイツへの合板供給に向けて購入希望企業から意思確認書を取得した。
6. 企業の事業領域(生産する製品/提供するサービスの概要):  
当工場は大型のカラマツ(ヨーロッパヤマナラシ)合板、針葉樹(マツ、カラマツ)合板の生産に特化している。当社の合板は、建設、内装仕上げ、家具・容器・梱包材製造に幅広く適用されるほか、軽量でありかつ木目が美しいことから、特に高級土産物、時計、模型飛行機の仕上げ、ならびに多様な教育用玩具および小児向けの積み木の生産にも適している。  
当社は商標 FK(耐湿性)、FSF(高耐湿性)の合板の製造に取り組むと同時に、内張りや家具製造に用いられる積層合板の製造を拡大しつつあり、来年度には、製品品目の拡大と、針葉樹材合板の生産規模の増強を計画している。
7. 企業が事業を展開している経済部門:  
木材高度加工、木材高度加工製品輸出
8. 輸出取引、投資プロジェクト実現の実績:  
当社は 2016 年からモンゴルへの合板輸出を首尾よく進めている。2018 年にはエジプトへの合板輸出契約が締結されたほか、トルコ、ドイツへの合板供給に向けて購入希望企業から意思確認書を取得した。
9. 輸出先の地理配置(恒常的に輸出を行っている相手国を列挙):  
モンゴル
10. ロシア国内および国際的な証明書の有無(取得している場合にはその名称と有効期限を明記):  
GOST 3916.1-96 適合宣言書  
GOST 3916.1-96 適合証明書
11. 日本のパートナーとの協力に向けて提案するプロジェクト:  
-当社は新たな販売市場に関心を持っている。  
-建設企業、家具メーカー、建設資材卸売・小売企業への合板供給面での協力。  
-当社合板の JAS 規格認証取得への助力が必要。

## 6. 株式会社「ウランウデ航空工場」

1. 企業名：  
株式会社「ウランウデ航空工場」
2. 企業の所在地：  
ブリヤート共和国ウランウデ市ホリンスク通り1
3. 企業責任者：  
代表取締役-ベルイフ, レオニド・ヤコヴレヴィチ
4. 企業のインターネットサイトアドレス  
www.russianhelicopters.aero
5. 企業の創立年月日および略歴：  
当社・株式会社「ウランウデ航空工場」は 1939 年に設立された。当社はペトリアコフ、ラヴォチキン、ミコヤン、グレヴィチ、アントノフ、ヤコヴレフ、ベリエフ、スホイ、ミル、カモフといった、事実上全ての国内航空機試験設計所の開発による様々な型式の飛行機およびヘリコプターを製造してきた。創業以来、当工場で製造した航空機は 8,500 機を超える。  
当社は航空機の製造に必要な生産システムを完全にそろえている。当社は自社所有の航空訓練センターを持っており、その中にはヘリコプターMi-171 の訓練システムが含まれている。現在、当社はロシア最大級のヘリコプターメーカーの1つとなっている。当社の唯一の株主は、株式会社「ロシア・ヘリコプターズ」である(株式 100%保有)。
6. 企業の事業領域(生産する製品／提供するサービスの概要)：  
当社は下記を製造している：
  - ・ ヘリコプターMi-171 (Mi-8AMT、Mi-171E) -輸送用、旅客用、捜索・救助用、防火用、医療用、VIP 用、コンバーティブルタイプ(輸送用／VIP 用)；
  - ・ 多目的ヘリコプターMi-171A2-各種仕様；
  - ・ 貨客混用ヘリコプターMi-171A1；
  - ・ 軍用輸送ヘリコプターMi-8AMTSh (Mi-171Sh)、Mi-8AMTSh-V(改良型)、Mi-8AMTSh-V(北極用)；
  - ・ 航空機用予備パーツ、ナビゲーションシステム、モニタリング・テスト用機器；
  - ・ ロシアの航空機製造企業(株式会社「ロシア・ヘリコプターズ」、公開株式会社「統一航空機製造会社(UAS)」、公開株式会社「イルクート社」との共同プログラムの一環として製造するユニット。これには、航空機 Be-200、Yak-130、Yak-152、Su-25、Su-30 のユニットを含む。当社が製造するヘリコプターMi-8AMTSh は、ロシア連邦防衛省、ならびに連邦安全保障庁および内務省の航空部隊の Mi-8 型ヘリコプターの機体更新の基礎モデルとなっている。  
ヘリコプターMi-171 は「ロシア優良商品 100 選」(2010～2017 年)に含まれている。  
当社はまた下記を遂行している。
  - ・航空機のメンテナンスサービス一式(製造から再利用までのライフサイクルサポートを含む)

- ・航空機の近代化
- ・ヘリコプター操縦士および技術スタッフの教育

7. 企業が事業を展開している経済部門:

航空機製造、ヘリコプター・飛行機およびその他の航空機の製造

8. 輸出取引、投資プロジェクト実現の実績:

当社は豊富な輸出取引実績を有しており、1991 年以降、ヘリコプターMi-171、Mi-171E、Mi-171Sh 数 100 機をヨーロッパ、CIS、アジア、アフリカ、北米、中南米諸国を含む世界 35 カ国に供給してきた。

9. 輸出先の地理配置(恒常的に輸出を行っている相手国を列挙):

当社の大規模輸出パートナーの中には、中国、アルジェリア、イラン、アラブ首長国連邦、パキスタン、ペルー、スリランカ、イラク、バングラデシュ、アンゴラ、カザフスタン、イエメンが含まれている。輸出先総数は世界 35 カ国にのぼる。多くの場合、ヘリコプター機器供給契約の履行期間の平均は、製造サイクルを加えると1年以上、保証債務も加えると2~3 年となる。

10. ロシア国内および国際的な証明書の有無(取得している場合にはその名称と有効期限を明記):

当社は航空機の量産に必要なあらゆるライセンスと製造承認証明書を取得しており、この中には下記のものが含まれる。

- 武器および軍事機器の開発、製造、試験、設置、組立、メンテナンス、修理、再利用および販売の遂行権に関するライセンス No.002352VVT-PR-2012 年6月 25 日連邦防衛発注庁発行(無期限有効)
- 航空機の開発、製造、試験、修理の遂行に関するライセンス No.11702-AT、2012 年7月 25 日ロシア連邦産業貿易省発行(無期限有効)
- 製造承認証明書 No.OP-22-PVS、1997 年9月 30 日国際航空機委員会航空機登録協会発行(無期限、延長可能)
- 品質管理システム承認証明書 ISO-9001、AS-EN9100、Bureau Veritas 発行。

11. 実現に向けて提案するプロジェクト:

- 日本の航空輸送業者に対し、貨物用および旅客用の民間仕様ヘリコプターを提案したい。当社は CIS およびアジアの諸国に対し、標準仕様および VIP 仕様の客室を備えたこの種の製品の販売実績を有している。B2B ベースで様々な協業形態の案を検討する用意がある。

## 7. 有限責任会社「バイカルエコセルヴィス」

1. 企業名：  
有限責任会社「バイカルエコセルヴィス」
2. 企業の所在地：  
ブリヤート共和国イヴォルギンスク地区ソトニコヴォ村ペルヴァヤ・プロムイシレンナヤ通り5A
3. 企業責任者：  
代表取締役-トンコノゴフ, デニス・セルゲエヴィチ
4. 企業のインターネットサイトアドレス  
<http://байкалэко.рф>
5. 企業の創立年月日および略歴：  
当社グループの創立日は 2008 年3月7日、有限責任会社「バイカルエコセルヴィス」の法人登記日は 2013 年3月1日である。  
当社は、家庭固形廃棄物および産業危険廃棄物の輸送、処理、再利用、無毒化、埋め立てといった市場、ならびにブリヤート共和国、イルクーツク州、ザバイカリエ地方の諸企業のための環境プロジェクト開発分野、研究・啓蒙活動において成功を収めている企業グループ「バイカルエコセルヴィス」の傘下企業である。同グループは過去に、ブリヤート共和国とウランウデ市における環境上の非常事態を解消しており、バイカル湖岸の清掃、廃棄物集積場の再開墾(recultivation)を行ってきた。
6. 企業の事業領域(生産する製品/提供するサービスの概要)：  
自社輸送拠点、ならびに含水銀廃棄物無毒化工場、プラスチック処理工場、ガラス処理工場、ゴム・タイヤ廃棄物処理工場、熱処理による医療廃棄物無毒化工場、含石油廃棄物処理工場、電子機器・設備廃棄物処理工場を有し、全工程を統括する企業である。埋立地を除く事業用地の総面積は1haにのぼる。
7. 企業が事業を展開している経済部門：  
①廃棄物の輸送および処理(無毒化、再利用、処理、埋め立て)、②環境設計、③汚損した土地の再開墾、④副産物の販売
8. 輸出取引、投資プロジェクト実現の実績：  
なし
9. ロシア国内および国際的な証明書の有無(取得している場合にはその名称と有効期限-無期限)：  
建造物、営造物、設備、輸送手段に対する衛生・疫学的証明書-無期限。  
危険等級1~4の廃棄物の収集、輸送、処理、処分、無毒化、投棄場所割当に関する事業ライセンス-有効期限: 無期限。
10. 日本のパートナーとの共同実現に向けて提案するプロジェクト：
  - 排水浄化システム、地域浄水施設
  - 工業企業用空気清浄システム
  - 化学廃棄物および医療廃棄物の処理・処分方法、同目的における設備の取得
  - 産業廃棄物の処理方法
  - 環境に対するモニタリングおよび監視の自動化(市街区の範囲内におけるものを含む)
  - 建築廃棄物の処理
  - プラスチック廃棄物およびガラス廃棄物の処理
  - リサイクル
  - 「廃棄物ゼロ」プログラム
  - 熱併給発電所の廃棄物の収集、保管、処理システム
  - 廃棄物の再利用、二次利用

## 8. 有限責任会社「デュポン・インヴェスト」

1. 企業名：  
有限責任会社「デュポン・インヴェスト」
2. 企業の所在地：  
ウランウデ市ジェルデフ通り 10A
3. 企業責任者：  
代表取締役-ガオ・シャン
4. 企業のインターネットサイトアドレス  
<http://d-i03.ru>
5. 企業の創立年月日および略歴：  
創立日は 2008 年 7 月 15 日。有限責任会社「デュポン・インヴェスト」は、ロシア連邦領内で登記し事業を展開する口中合併の外資系企業である。  
当社の主たる事業は総合建設請負業である。当社はウランウデ市の建設市場において 10 年の実績を有しており、この間に、安定した事業パートナーとしての名声を獲得した。
6. 企業の事業領域(生産する製品／提供するサービスの概要)：  
当社は急速な発展を遂げつつある企業であり、様々な複雑性を有する不動産物件の建設、建物内外の公益施設網の整備に関する複合的な建設・設備据付業務を手がけている。作業はすべて、承認済みの設計図に基づいて厳格に、また、所定の期限と建設基準を順守しつつ、高度な品質レベルを保って遂行している。  
ウランウデ市における当社の主な成果物は、集合住宅である。当社の創業以来、当社グループに参加している各企業との連携のもとに、集合住宅 19 棟が建設された。  
現在、当社は自社プロジェクトのための元請企業としての役割を果たしており、あらゆる建設プロセスを効率よく組織する建築専門家チームと、輸送・専門機器(掘削設備、貨物ローダー、輸送設備を含む)を有している。当社は、多様な用途をもつ施設の建設用地として巨大な土地区画を保有している。
7. 企業が事業を展開している経済部門：  
製造部門:大規模建設  
商取引部門:建設段階および入居後段階における不動産物件販売(居住用および非居住用物件、家屋等)
8. 輸出取引、投資プロジェクト実現の実績：  
当社は輸出業務に携わっていない。
9. 輸出先の地理配置(恒常的に輸出を行っている相手国を列挙)：  
当社は輸出業務に携わっていない。

当社は、自社の需要を満たす目的で、中国からロシア領内へ生産設備・建設機器を輸入している。

10. ロシア国内および国際的な証明書の有無(取得している場合にはその名称と有効期限を明記):  
当社が取得しているロシア/国際証明書はない。

11. 日本のパートナーとの共同実現に向けて提案するプロジェクト:

今日、最新の建造物の外観建築においては、日本のデザインモチーフの人气が非常に高まっている。日本の様式で建設された家屋は独特の形状で際立っており、壁・屋根は滑らかな直線を用いている。

当社は、日本で建造物の外観の仕上げに用いられている建材および/または技術の取得に関する日本側パートナーからの提案に関心を持っている。

当社は様々な外装材の取得について複数の案を検討しているが、この際に重要視しているのは、そのラインナップ、環境安全性、長年にわたり鮮やかさを保持し、時とともに退色しない耐久性の高い装飾仕上げ、機械的な外的作用への耐久性、耐寒性、優れた断熱性と防音性、軽さ、メンテナンスの容易さ、高度な火災安全性、組立所要時間の短さである。

## 9. 有限責任会社「レムストロイ」

1. 企業名：  
有限責任会社「レムストロイ」
2. 企業の所在地：  
法的所在地：670045、ウランウデ市マトロソフ町2  
現住所：671053、イヴォルギンスク地区ポセリエ町マギストラリナヤ通り 18
3. 企業責任者：  
社長-フョードロワ, エレナ・チムロヴナ
4. 企業のインターネットサイトアドレス、E-mail：  
remstroybur@mail.ru
5. 企業の創立年月日および略歴：  
当社の創立日は 2007 年2月 20 日。創立以来一貫して自社事業を展開、現在では建設部門の様々な領域における実績を有する安定的企業であり、また、急速な発展を遂げつつある。当社は、大規模建築の建設、再建、大規模修繕に関連する業務契約を締結できる自主規制機関としての許可証を有している。当社が手がける建設業務の主な種類は次の通りである。道路および道路上の構造物の建設・修繕・保持、建造物および営造物の建設および修繕、送電網・通信網・給電設備の建設、ダム・水路・土地改良設備の建設および大規模修繕。
6. 企業の事業領域(生産する製品／提供するサービスの概要)：  
当社の主な発注者は次の通りである。国家予算機関「ブリヤートレギオンアフトル」、ブリヤート共和国国家予算機関「ブリヤート共和国政府大規模建設局」、地方自治体機関「ウランウデ市行政府建設委員会」、地方自治体機関「ウランウデ・ストロイザカズチク」、連邦国家予算機関「ブリヤートメリオヴォドホズ」。過去2年間における重要な建築物は次の通りである。キャフタ市公害防止施設、ウランウデ市勝利記念公園の再建、ウランウデ市 45 街区における共和国立小児科臨床病院の建設(プレオープン施設4カ所)、ウランウデ市ジャナエフ記念公園の整備、ウランウデ～ホリンスク間自動車道のザイグラエヴォ地区 22～30km 区間の整備レベル向上、国立図書館の建物再建、ドウンダエフ灌漑システムの再建等。
7. 企業が事業を展開している経済部門：  
建設。
8. 輸出取引、投資プロジェクト実現の実績：  
現在、ザイグラエヴォ地区オノホイ町における学校体育館建設投資プロジェクトが進められている。
9. 日本のパートナーとの共同実現に向けて提案するプロジェクト：  
ウランウデ市におけるゴミ焼却場の建設—当社が請負業者として誘致される可能性がある。  
日本側パートナーおよび／または日本の技術協力による当共和国での建築資材の製造。  
小型機械組立のための組付部品、機器、ユニットの供給(ディーゼル発電機、振動工具、収穫用機械等)、ブリヤート共和国における組立工場開設の可能性。  
当共和国建設部門への日本の投資家の誘致。



## 10. 有限責任会社「ブルグラジダンストロイ」

1. 企業名：  
有限責任会社「ブルグラジダンストロイ」
2. 企業の法的所在地および現住所、納税者識別番号：  
法的所在地：ブリヤート共和国ウランウデ市バルタヒノフ通り 15、ビジネスセンター「Geleksi」406、CXXIX  
現住所：ブリヤート共和国ウランウデ市バルタヒノフ通り 15、ビジネスセンター「Geleksi」406  
納税者識別番号：0326523359
3. 企業責任者：  
代表取締役-ムラフスキー，ウラジーミル・アナトリエヴィチ
4. 企業のインターネットサイトアドレス  
<http://bgs03.ru/>
5. 企業の創立年月日および略歴：  
創立日は 2014 年6月 18 日。当社はブリヤート共和国の産業市場で順調に活動している同共和国商工会議所自主規制機関の加盟員である。当社は生産企業であり、ブリヤート共和国の首都ウランウデ市内における住宅用および非住宅用建造物、営造物の建設に携わっている。
6. 企業の事業領域(生産する製品／提供するサービスの概要)：  
デベロッパーである当社は建設分野における企業活動を展開しており、その活動には次のものが含まれる：土地区画の買付、物件の設計、建設許可書類の取得、物件の操業開始、施工主兼発注者としての機能の遂行、請負業者・供給業者との契約の締結、完成した不動産物件の販売。  
当社は主として、ウランウデ市内における高層マンション、高級マンションの建設に特化している。2014 年から 2018 年までの間に建設し、操業を開始した面積は、住宅用建造物1万 8,180m<sup>2</sup>、商業施設 2,067.5m<sup>2</sup> にのぼる。現在、8物件の建設が進められており、このうち6件は場所打ち鉄筋コンクリート造の16～18 階建てマンションで、総面積は 10 万 6,202m<sup>2</sup>、1件は場所打ち鉄筋コンクリート造の5階建て高級マンションで、総面積は 4,104m<sup>2</sup>、1件は商業施設で、総面積は 1,323m<sup>2</sup>である。
7. 企業が事業を展開している経済部門：  
住宅・公共施設・商業施設の建設。
8. 日本のパートナーとの共同実現に向けて提案するプロジェクト：  
地震危険度が高い地域における建設と、最新の建材および「グリーンテクノロジー」の活用に関する実績を有する日本企業を、互恵的協力に誘致する。

## 11. 有限責任会社 バイカル建設会社「コントウル」

1. 企業名：  
有限責任会社 バイカル建設会社「コントウル」
2. 企業の所在地：  
ウランウデ市サヒヤノヴァ通り5A、事務所 No.1
3. 企業責任者：  
代表取締役-ラドナタロワ, アリュナ・アレクサンドロヴナ
4. 企業のインターネットサイトアドレス  
<http://kuhni-letu.ru> 事業方針の1つである家具サロンのサイト
5. 企業の創立年月日および略歴：  
2013年4月創立。当社は生産企業であり、住宅用・公共用・生産用建造物の建設を手がけている。さらに、2015年からは箱物家具の生産と販売にも携わっている。
6. 企業の事業領域(生産する製品/提供するサービスの概要)：  
当社は住宅用・公共用・生産用建造物の建設を手がけるほか、高級家具の生産と販売にも携わっている。
7. 企業が事業を展開している経済部門：  
建設および家具生産。
8. 輸出取引、投資プロジェクト実現の実績：  
2017年に既製品の生産増強と品質向上を目的として新規に設備を取得したほか、新たな家具工場をスタートさせた。
9. 輸出先の地理配置(恒常的に輸出を行っている相手国を列挙)：  
当社はこれまで製品の輸出には携わっていない。
10. ロシア国内および国際的な証明書の有無(取得している場合にはその名称と有効期限を明記)：
11. 日本のパートナーとの共同実現に向けて提案するプロジェクト：  
当社はブリヤート共和国内における箸の生産という新たな方向性の開拓を計画しており、プロジェクトへの投資と製品の販売を目的として、パートナーを探している。

## 12. 有限責任会社「ロトス」

1. 企業名：  
有限責任会社「ロトス」
2. 企業の所在地：  
ウランウデ市ウランウデ通りメレツコフ通り 34B
3. 企業責任者：  
社長-バヤルトウエフ, エルデニ・バザロヴィチ
4. 企業のインターネットサイトアドレス  
<http://lotosuu.ru>
5. 企業の創立年月日および略歴：  
当社の創立日は 2005 年6月7日。設立当初から今日に至るまで、ブリヤート共和国、ザバイカリエ地方、サハ共和国、イルクーツク州における美術品鑄造・復元作業市場で成功を収めてきた。
6. 企業の事業領域(生産する製品／提供するサービスの概要)：  
当社は彫刻・構成彫刻・記念碑の製造、ならびに文化遺産の復元業務を手がけている。自社の製造拠点、鑄造工場、記念碑製造工場を所有している。  
設立当初から、当社の彫刻師らはアガ・ブリヤート自治管区で貴人バルジン・ハトゥン像、武人バブジャ・バラス＝バトル像を、イルクーツク州ではブルゲド(ワシ)や、ブリヤートの劇作家 A.V.ヴァムピーロフ像、イルクーツク市のシンボルであるバブル(トラに似た伝説上の動物)を造ってきた。ウラル山脈を挟んだ諸地域の多くの彫刻師が当社の鑄造工場ですらの芸術作品を鑄造している。  
アガ・ブリヤート自治管区の礼拝堂「ソグチェン・ドゥガン」の再建(2014 年の火災後)では復元作業を行った。また、ザバイカリエ地方ツゴル村のツゴル礼拝堂の復元作業も行った。
7. 企業が事業を展開している経済部門：  
民族工芸
8. 輸出取引、投資プロジェクト実現の実績：  
当社は輸出取引の実績を有していない。
9. 輸出先の地理配置(恒常的に輸出を行っている相手国を列挙)：  
---
10. ロシア国内および国際的な証明書の有無(取得している場合にはその名称と有効期限を明記)：  
当社はロシア国内および国際的な証明書を取得していない。
11. 実現に向けて提案するプロジェクト：  
当社は新たな販売市場、ならびに美術品鑄造分野における新たな技術の習得と応用に関心を持っている。

### 13. 有限責任会社「シブディコロス」

1. 企業名：  
有限責任会社「シブディコロス」
2. 企業の所在地：  
670002、ウランウデ市コムソモリスカヤ通り 21
3. 企業責任者：  
代表取締役-ミハイロワ, ピラゲヤ・アントノウナ
4. 創立年月日:2015年3月18日
5. 企業の事業領域：  
当社はマツの実、チャガ(カバノアナタケ)、漿果、キノコ、シーバックソーン、ラムソン、ボウフウ(Ledebouriella divaricata)といった野生有用植物の栽培と採集に従事してきた。  
イルクーツク国立大学植物園との協力の過程で、ウイキョウ、匍匐性タイム、イワン・チャイ(ヤナギラン)、マリアアザミ、カミツレ、キンセンカ、アマ、キャラウェイ、タイム、アニス、カラシナ、セイヨウワサビ等の薬用植物を自社土地区画内において栽培するよう推奨を受けて事業に着手している  
当社はまた、バイカルの水を飲料水として瓶詰・販売する事業のビジネスプランと詳細プロジェクトを立案している。
6. 企業が事業を展開している経済部門：  
野生有用植物および薬用植物の採集と栽培。野生有用植物の輸出。
7. 輸出取引：  
2016年-マツの実の輸出ライセンスを取得。  
2017年-ボウフウ(Ledebouriella divaricata)の輸出ライセンスを取得。
8. 当社は下記の点に関して日本企業との間で長期ベースでの検討を進めたい：
  - 薬用植物および野生植物の共同加工プロジェクト
  - 当社が所有する井戸からバイカルの水を汲み、瓶詰・販売するプロジェクトの実現
  - 日本の技術による「ヤマワサビ」の純水栽培の学習、日本側パートナーとの協力による同製品の栽培および販売

## 14. 連邦国家予算学術機関「ブリヤート農業研究所」

1. 企業名:  
連邦国家予算学術機関「ブリヤート農業研究所」
2. 企業の所在地:  
670045、ロシア連邦ブリヤート共和国ウランウデ市トレチャコフ通り 25z
3. 企業責任者:  
所長-ブダジャポフ, ルブサン=ゾンディ・ウラジーミロヴィチ
4. 企業のインターネットサイトアドレス  
<https://burniish.ru/>
5. 企業の創立年月日および略歴(段落2つ):  
当研究所は 1980 年 11 月 27 日付ロシア・ソビエト連邦社会主義共和国閣僚会議決定第 565 号「V.I.レーニン記念全ソ農業学アカデミー ブリヤート農業研究所の設立について」により、ブリヤート国立農業試験場、シベリア畜産研究・試験所ブリヤート総合研究支部を基盤として 1980 年に設立された。  
2013 年9月 27 日付連邦法第 253-FZ 号「ロシア科学アカデミー、国立科学アカデミーの改組、ならびにロシア連邦の個々の法令の改正について」、および 2013 年 12 月 30 日付ロシア連邦政府命令第 5291-r 号に従い、当機関は連邦学術機関庁(FASO)の管轄下に移管された。
6. 企業の事業領域(生産する製品/提供するサービスの概要):  
農作物栽培、畜産、水産養殖、環境安全性の高い食品および治療・予防製品の生産、ならびに、果実・漿果・穀物および野生の有用植物の加工を基盤とした機能性食品の開発、プラズマ技術。
7. 企業が事業を展開している経済部門:  
学術研究、農業。
8. 輸出取引、投資プロジェクト実現の実績:  
モンゴルと中国: 果樹・漿果・装飾作物の苗木、穀類の種子、ジャガイモ、林地残材、ジュース、ジャムの販売。
9. 輸出先の地理配置(恒常的に輸出を行っている相手国を列挙):  
モンゴル
10. ロシア国内および国際的な証明書の有無(取得している場合にはその名称と有効期限を明記):  
ユーラシア経済連合、適合宣言書: ジャム(2021 年3月 22 日)、ジュース(2021 年4月 10 日)。  
手続き段階:  
種子: ①コムギ:ブリヤート 551、アリユナ、セレンガ。②オオムギ:オドン。③クロウメモドキ油。④食用穀粒。
11. 日本のパートナーとの共同実現に向けて提案するプロジェクト:
  1. 果実・漿果・穀物および野生の有用植物の加工を基盤とした機能性食品の開発。
  2. 個体発生の初期段階における植物の成長と発達に対する低温プラズマの影響の研究。
  3. 高い収量、倒伏耐性、低い罹病性、高い穀粒生産性を特徴とする穀物の新系統の総合評価。
  4. 所定の指標を有する果実・漿果の出発原料の研究、将来性の高い品種サンプルの試験。
  5. ウスリーシロザケ科、コイ科の魚への適応性のある給餌技術の開発。

## 15. 有限責任会社「オブエジニョンヌイエ・フェルメルイ」

### 1. 企業名:

有限責任会社「オブエジニョンヌイエ・フェルメルイ」

### 2. 企業の所在地:

670045、ブリヤート共和国ウランウデ市アムブラトルナヤ通り2A

### 3. 企業責任者:

社長-ジャルサラエフ, ウラジーミル・ボロトヴィチ

### 4. 事業概要

当社は、フェルメル、即ち農業経営者の統合を目的として 2016 年に設立された。事業の狙いは、自社の販路と外食産業ネットワークを介して、農産物、すなわち肉、乳製品、野菜、ジャガイモといった環境負荷の少ない農産物を生産・販売することであった。

現在、今後5年間における戦略的開発プランのうち下記の内容が実現されている。

-フェルメル3事業者と大規模農業企業「アグロホールディング」の合併

-羊肉、牛肉、豚肉の生産。民族的製品としての優先品目は羊肉と羊の内臓セットであり、後者は民族的伝統に則って処理されたもので、当共和国内で非常に人気が高い。

-2017 年には野菜栽培用の温室4棟が建設され、初年度には、僅かではあったが、キュウリ、トマト、ナス、ピーマン、ナタウリ、スイカ、フレッシュハーブが収穫できた。2018 年にはさらに2棟の温室が完成する予定であり、既存の耕作面積から可能な限りの収穫を得るため、春季の農耕準備作業が集中的に進められている。

-土地区画は膨大にあり、ジャガイモ、根菜類、キャベツ、その他の野菜類が栽培されている。

-こうした農業経営により得られた製品は、ウランウデ市内のレストランチェーン「オノン」、カフェ「スグタア」、ならびに「リモナード」ブランドの外食産業ルートにおいて、卸価格で販売されている。

-自社産の肉と野菜は、ウランウデ市内で 2017 年にオープンした自社経営カフェ「ドウルジバ」でも提供しており、来客から多くの需要を得ている。

戦略的開発プランのうち、下記項目の実現に関する大規模な作業が控えている。

(1)建設の完遂と操業開始:

-屠殺場;

-乳製品製造工場;

-パン・菓子製品の製造を行うベーカリー:オープンはずでに完成しており、薪を燃料として熱を供給。

-肉類半加工品製造工場。

(2)果樹、および漿果をつける低木を栽培する園芸系フェルメル農場の創設。

### 5. 訪日の目的

当社は、ウランウデ市および当共和国で暮らす人々に、ビタミン類を豊富に含み、化学薬品や成長ホルモンを使用していない、味の良い、有用な自社産農産物を供給するために必要なあらゆることを行っている。

当社は、労働面や、土地の集中的かつ丁寧な利用といった面における日本の農家の豊富な実績に学ぶため、日本でのパートナーを探している段階である。

## 16. 有限責任会社 小規模イノベーション企業「バイカル・バイオテクノロジーセンター」

1. 企業名:  
有限責任会社 小規模イノベーション企業「バイカル・バイオテクノロジーセンター」
2. 企業の所在地:  
670034、ブリヤート共和国ウランウデ市ハハロフ通り 12a
3. 企業責任者:  
代表取締役-バルハノフ, ユーリイ・ソドノモヴィチ
4. 企業のインターネットサイトアドレス  
作成中。
5. 企業の創立年月日および略歴:  
当社は 2017 年6月 20 日に設立された。  
設立後、2017 年 11 月に M.V.ロモノーソフ記念モスクワ国立大学構内で開催された、ロシア科学アカデミー「ロシア基礎研究基金」主催による第3回再生医療国民会議に参加した。この会議の資料は研究実践誌「学術と細胞」に掲載されている。  
2017 年 10 月には、イノベーションセンター「スコルコヴォ」で開催された国際フォーラム「オープン・イノベーション」に参加した。  
2018 年4月には、第 22 回国際プーシキン会議「生物学-21 世紀の科学」に参加した。同会議の主催者は、ロシア科学アカデミー・プーシキン学術センター、ロシア科学アカデミー理論・実験生物物理学研究所、M.V.ロモノーソフ記念モスクワ国立大学、ロシア科学アカデミー理論・実験生物物理学研究所若手研究者・スペシャリスト会議であった。  
2018 年3月には、第 13 回国際ピロゴフ学術医学会議で、当社の代表によって「深傷および火傷の治療に対する脱細胞化組織工学被覆材の適用効果の評価」をテーマとした報告がなされた。
6. 企業の事業領域(生産する製品/提供するサービスの概要):  
当社の事業領域は、バイオテクノロジーの基礎的手法と応用手法の開発、組織工学・分子遺伝学成果の臨床現場への応用である。  
主な製品はコラーゲン、すなわち、生物学的適合性を発揮し、創傷の経過に作用を及ぼすラミニンマトリックスである。組織工学的創傷被覆材とは、コラーゲン抽出法、コラーゲンマトリックス生成法、コラーゲン培地による不死化角化細胞(HaCaT)培養法の組み合わせを援用し、さらに、その後の固定と洗浄剤による脱細胞化(細胞からの最終生成物の除去)を図ることによって開発されたものであり、ヒトの皮膚構造と完全な組織特異的同一性を有する基底膜コラーゲンおよび基底膜ラミニンという2つの主成分からなるポリマー材料である。  
この製品は、長期にわたり治癒しない創傷(栄養性潰瘍、火傷)の治療、広範囲に及ぶ皮膚範囲の再生または一時的な被覆に用いられている。
7. 企業が事業を展開している経済部門:  
学術および保健。
8. 輸出取引、投資プロジェクト実現の実績:  
この種の実績はまだない。
9. ロシア国内および国際的な証明書の有無(取得している場合にはその名称と有効期限を明記):  
証明書は取得していない。
10. 日本のパートナーとの共同実現に向けて提案するプロジェクト:  
下記の共同プロジェクトが可能である:
  - ・ヒトの皮膚表面における潰瘍、火傷、創傷の治療に用いる医療用品の共同開発。
  - ・個別発注に基づき培養した皮膚被覆材の供給。

## 17. 有限責任会社 医療センター「ディアメド」

1. 企業名:  
有限責任会社 医療センター「ディアメド」
2. 企業の所在地:  
670034、ブリヤート共和国ウランウデ市ハハロフ通り 12a
3. 企業責任者:  
代表取締役-ドリエワ, ヴァレンチナ・バドマ=ツィレノヴァ
4. 企業のインターネットサイトアドレス  
<https://diamedrb.ru/>

### 5. 企業の創立年月日および略歴:

当社は 2006 年7月7日にウランウデ市に設立され、婦人科と超音波診断という限られた事業範囲からその歴史をスタートした。当社はブリヤート共和国の女性の間で急速にその名を知られるようになり、創立後3年間で、ウランウデ市内の様々な地区に3つの支部を次々と開設した。

2010 年にはブリヤート共和国初の「女性の健康-民族の未来」助成金を獲得。2012 年には外科部門と自社の臨床・診断試験室を開設した。2013 年には小児科クリニック「ディアメド PLUS」をオープン。2014 年には生殖補助医療技術 (ART) 部門を開設し、同年、体外受精法で妊娠に至った子どもが初めて出産された。2015 年にはバイカル健康増進センターとマタニティケア・クリニックを開設。2016 年には初の「総合診療医クリニック」を、2017 年には「健診クリニック」を開設した。医療センターは常に成長と発展の道をたどっている。

### 6. 企業の事業領域(生産する製品/提供するサービスの概要):

事業の主たる領域は、医療サービスである。

現在、当社は 40 を超える専門分野の医師が診療を行っている。主要かつもっとも幅広く発展している分野は、従来通り婦人科と超音波診断である。臨床・診断試験室、酵素結合免疫吸着法 (ELISA 法) 試験室、ポリメラーゼ連鎖反応 (PCR) 試験室によって、500 種を超える多様な検査が可能となり、このうち 90%は即日結果を出すことが可能である。

外科部門では、助産科、婦人科、外傷科、開腹手術科、一般外科および形成外科、肛門科、泌尿器科といった部門の外科的治療サービスを提供している。

生殖補助医療技術部門では、体外受精関連サービス全般を提供しているほか、患者のバイオマテリアルの保管を可能とする精子バンクサービスも手がけている。

マタニティケア・クリニックでは、健康な子どもの出産の手助けとなる幾つかのプログラムを用意している。小児科クリニック「ディアメド PLUS」は小児科、神経生理学科、小児歯科に関わる幅広いサービスを提供している。

バイカル健康増進センターでは、健康の回復を目的として、生体の総合デトックス、カロリー制限療法、休息・リラクゼーションといったプログラムを用意している。主な商品は次の通りである:

- ・プログラム「キープ・ヤング」
- ・プログラム「アクティブ・エイジング」



- ・プログラム「デトックスとアンチストレス」
- ・プログラム「カロリー制限療法」

バイカル健康増進センターのサービスに対しては、ブリヤート共和国、ならびにイルクーツク州およびチタ州といった近接地域、さらにはロシア中央部、すなわちモスクワ、サンクトペテルブルグ、ノヴォシビルスク、クラスノヤルスクといった地域からの需要がある。モンゴル、韓国、ドイツ、フランスからの訪問客も当社でのカロリー制限療法を受けている。

7. 企業が事業を展開している経済部門：  
保健。

8. 輸出取引、投資プロジェクト実現の実績：  
バイカル健康増進センターには、毎年、世界各国からリフレッシュ目的の客が訪れる。  
毎年、中国、モンゴル、ドイツ、ウズベキスタン、米国の多くの女性が体外受精法を受けている。

9. 輸出先の地理配置(恒常的に輸出を行っている相手国を列挙)：  
フランス、ドイツ、モンゴル、韓国、中国、ウズベキスタン、米国。

10. ロシア国内および国際的な証明書の有無(取得している場合にはその名称と有効期限を明記)：  
当社は国際品質システム ISO 9001:2008 の証明書を取得している。

11. 日本のパートナーとの共同実現に向けて提案するプロジェクト：  
医療観光領域における共同事業-これは、日本と当共和国の住民が、両国の保険システムのうち、より優良なものを受けられることができる素晴らしいチャンスとなる。日本は医療分野における科学技術基盤および研究基盤の発展が目覚ましく、疾患の診断や治療もハイレベルである。ノーベル生理学・医学賞を受賞した大隅良典氏のような世界的権威である学者らが、体内の健康増進メカニズムに関する知識面において新たな展望を切り拓いている。  
バイカル健康増進センターは、1992～1993年に大隅氏が発見したオートファジー現象が持つ健康増進メカニズムを完全に体感できるようなサービスを提供している。  
当社は、観光企業と医療企業にとっての互恵的な協力を提案する。  
我々は当社の顧客に対し、日本への観光旅行時に受けることが可能な健康増進案に関する情報を提供することが可能である。当社の顧客には、20万人を超えるブリヤート共和国居住者がいる。我々が協力すれば、日本人もまた、ユネスコ世界遺産であるバイカル湖を訪れ、この土地が持つ自然の力と日口の学者らの学術開発に基づいた健康増進プログラムを受けられることが可能となるだろう。  
もう1つの協力の方向性として、体外受精目的での医療観光がある。当社は日本人に対し、快適な条件と安価な価格で体外受精を提案することができる。当センターでは、この4年間で2,000人以上の女性が体外受精を受け、621人の子どもが誕生している。技術はすべて完成されたものであり、妊娠に至る確率はロシアでも随一である。生殖補助医療分野での提携を望みたい。

## 18. 有限責任会社「バイカルスキー・パルトニョール」

1. 企業名:  
有限責任会社「バイカルスキー・パルトニョール」
2. 企業の所在地:  
670000、ウランウデ市バウ＝ヤムピロフ通り 14、事務所 No.9
3. 企業責任者:  
代表取締役-ドルジエフ, ゲセル・セルゲエヴィチ
4. 企業のインターネットサイトアドレス  
www. baikalers.com
5. 企業の創立年月日および略歴:  
当社は観光サービス領域で 2008 年から事業を展開している。当社はインバウンドとアウトバウンドの2つの方向性を主たる事業方針としている。国家旅行者登録簿に登録しており、登録番号は RTO-017142 である。  
当社を基盤として、ブリヤート共和国内の下記の主な旅行者3社からなる協会が設立された:  
有限責任会社「ゲセル・トゥル」(社長:ドルジエフ, ゲセル・セルゲエヴィチ)  
有限責任会社「トリオ＝イムペクス」(最高執行責任者:ズラエワ, エレナ・ユリエヴナ)  
有限責任会社「トリ・キタ」(社長:ダラエヴァ, エルジェナ・エルデムトゥエヴナ)
6. 企業の事業領域:  
当社はブリヤート共和国およびロシア領内への観光客の受け入れサービスを提供している。また、バイカル湖岸に宿泊施設と輸送手段を有している。企業家のビジネスツアー、会議、見本市、B2B 商談会の企画も行っている。
7. 企業が事業を展開している経済部門:  
サービス領域、ウェルネス・エデュケーショナル・ビジネスツーリズム。MICE。
8. 輸出取引、投資プロジェクト実現の実績:  
当社は中国、韓国、モンゴル、ドイツ、フランスといった各国からの外国人観光客を受け入れている。
9. 日本のパートナーとの共同実現に向けて提案するプロジェクト:  
日本およびその他の国から、ロシア、ブリヤート共和国、バイカル湖への観光客の誘致を目的とした新規パートナーの開拓。

## 19. 有限責任会社「リュクス・トゥル」

### (5つ星ロジホテル「バイカリスカヤ・レジデンツィヤ」)

1. 企業名:  
有限責任会社「リュクス・トゥル」(5つ星ロジホテル「バイカリスカヤ・レジデンツィヤ」)
2. 企業の所在地:  
671700、ロシア、ブリヤート共和国セヴェロバイカリスク市セヴェロバイカリスク～バイカリスク間自動車道  
4km1
3. 企業責任者:  
代表取締役-ヴァルフォロメエワ, オクサナ・スタニスラヴォヴナ
4. 企業のインターネットサイトアドレス  
<http://baikalresidence.ru>
5. 企業の創立年月日および略歴:  
当社は 2012 年に設立された。設立の主たる目的は、バイカル湖岸に初の5つ星ホテルを建設し、その操業を開始することであった。ブリヤート共和国政府の支援のもと、この目的は超短期間のうちに達成され、2013 年にはロジホテル「バイカリスカヤ・レジデンツィヤ」がオープンしている。
6. 企業の事業領域(生産する製品/提供するサービスの概要):  
「バイカリスカヤ・レジデンツィヤ」は東シベリア建築に特徴的なデザインの独立棟2棟からなるロシア古来の農家スタイルのホテルである。伝統的な外観を維持しながらも、2棟の内部には、快適なくつろぎに欠かせない最新式の設備が備えられている。当ホテルには3つのカテゴリーからなる、広さ 25～60km<sup>2</sup> の客室が 17 室ある。当ホテルはバイカル湖岸の印象的な外観と現代的な特注デザインインテリアの複合体である。ここでは現代的な様式が古典的の様式と見事にマッチし、すべてが整然としており、簡明で、一部の隙もない独自の様式で形作られている。しかし、当ホテル最大の見どころはデザインではなく、窓の外に広がるバイカル湖、バルグジン山脈、そしてタイガを臨む心を揺さぶる展望と、さんさんと降り注ぐ日射である。当ホテルの敷地内には、バイカル湖の素晴らしい景色を臨むことのできる東屋、展望エリア3カ所(テラス)、籐製家具一式、シャーマンとの対話に用いられるブリヤート民族伝統のユルタ(移動住居)がある。また、バイカル湖岸から湖に 50m せり出した係留施設があるほか、重量 13tまでのヘリコプター、特に Mi-8 の着陸に用いられるヘリポートがある。車道部分と散策路には舗装用タイルによる舗装が施されている。当ホテルは各種機械設備(自動車・ボート・特殊車両および関連設備)を備えており、宿泊客は北バイカルのユニークかつ手つかずの土地に触れることができる。観光プログラムだけでなく、温泉や、サービス一式を備えた SPA センターといった健康増進プログラム、フェイス・ボディ用美容術(クレンジング、マスク)、シベリア風蒸し風呂、フィンランド風サウナ、プール、日本風の風呂である「おふろ」や「五右衛門風呂」に親しむこともできる。当ホテルは北バイカルでの豪華なリラクゼーションを楽しむための総合的なサービスを提供しており、宿泊客一人一人に対し個別の観光プログラムを作成し、個別メニューを用意している。
7. ロシア国内および国際的な証明書の有無(取得している場合にはその名称と有効期限を明記):  
国際的な賞の受賞:  
① Luxury Lifestyle Awards 2014、②Prime Traveler Awards 2017、③World Luxury Hotel Awards 2017
8. 日本のパートナーとの共同実現に向けて提案するプロジェクト:  
ロジホテル「バイカリスカヤ・レジデンツィヤ」をベースとした観光・SPA プログラムの割当てと企画。

## 20. 有限責任会社「テッラ・イグノタ」

1. 企業名：  
有限責任会社「テッラ・イグノタ」
2. 企業の所在地：  
670034、ウランウデ市ストレレツカヤ通り1
3. 企業責任者：  
社長-オチロワ, アレクサンドラ・ダシドンドコヴナ
4. 企業のインターネットサイトアドレス  
<http://terraignota.ru/>
5. 企業の創立年月日および略歴：  
当社は 2007 年 11 月 19 日に創立され、2014 年からは観光市場で事業を展開している。
6. 企業が事業を展開している経済部門：  
国内外の観光を手がける旅行業。
7. 日本のパートナーとの共同実現に向けて提案するプロジェクト：  
ブリヤート共和国、バイカル湖、ロシアへの日本人観光客の受け入れ。  
ロシア人旅行者の、観光・研修・治療目的での訪日。